



宮通

2年生 修学旅行

1 組



2 組



3 組



4 組



横浜散策



グルメ



ディズニーランド



上野・浅草散策



研修&観光



11月29日(水)から12月2日(土)の4日間、加悦谷学舎と合同で東京方面に修学旅行に行きました。1日目は移動とそれぞれの学舎に分かれて、本学舎は上野・浅草を散策しました。2日目、午前中はクラスごとにいろいろな施設や場所へ赴き研修を行いました。1組は日本郵政株式会社(本社)、2・4組は Teamlabo Planets、3組は早稲田大学などを見学しました。午後からは活動班ごとに班別研修を行い、事前に計画を立てた施設等をめぐって、学びを深めました。3日目は、東京ディズニーランドへ行きました。まさに夢の国であり、みんなのたくさんの笑顔が見られました。4日目は、横浜へ移動して中華街周辺を散策しました。いろいろな店がある中で、飲食店の多さと、食べ物の種類の多さに圧倒されました。

今回の修学旅行の目標は「自主自律」です。集団としての規律を守るだけでなく、各クラスや班で行き先を考え、主体的に学び行動する機会となりました。また、クラス・学年・両学舎との友情を深めるとともに、新たな人間関係を作ることができ、さらに「絆」が深まりました。

「今年の修学旅行は、東京を中心に千葉、横浜などの関東方面に行き、クラス別、班別行動の時間が多く設けられ、自分達で考え動く場面が多くありました。慣れない場所での行動は失敗も多く、予定通りにいかないことも多々ありましたが、その中でも仲間と協力して案を出し合い、楽しむことができました。加悦谷学舎と交流する時間もあり、宮津天橋全体で成功させることができた行事だったと思います。」

修学旅行委員長 堀井 涼雅 (HR22)

「旅行前に定期考査があったこともあり、クラスや学舎間で話す機会が少なかったですが、限られた時間の中で修学旅行を最高の思い出にするために計画を練ることができました。たくさんの活動の中で宮津天橋高校の一員だということを自覚しながら、修学旅行を終えることができましたと思います。先生方をはじめとする多くの方々に感謝し、今回の経験を自分の進路実現につなげていきたいです。」

修学旅行副委員長 眞柴 滯音 (HR22)

与謝野町長特別対談

12月6日（水）、旧宮津高校の卒業生である山添藤真与謝野町長との特別対談を実施しました。町長の講話や1年生 Safari（総合的な探究の時間）で地域の課題について取り組む20名の発表、町長との意見交流などがあり、地域の課題についての理解が深まるだけでなく、自分達の生まれ育った故郷を見つめ直し、地域と自らの将来を展望する有意義な時間となりました。また、昼休みに食事を取りながら町長と対談する機会もありました。町長が料理されたお弁当を振る舞われたり、ご自身の生い立ちをたくさん語ってくださり、と和やかな食事会となりました。

「私達の発表に対して、町長から全体的な改善点を各グループごとにアドバイスして頂き、今後の活動を見通す良い機会となりました。さらに主体的に行動して、より良いものを創っていきたいと思いました。」

井上 玄稀（HR13）

「普段なかなかお話を聴くことができない町長と対談し、自分の将来について考えることができました。将来、自分が地元に戻って来られなくても、何かしらの形で地域に貢献できるように、今回学んだことをずっと忘れずに心に留めておきます。」

藤村 結芽（HR21）



香港の高校生との交流

12月14日（木）、香港の高校生22名が来校しました。香港の高校生1人に対して、本学舎の生徒が1人付いて一緒に授業を受けたり、昼食を食べたり、掃除をしたりするなど本学舎の一日を体験していただきました。生徒達は、身振り手振りを加えながら一生懸命英語でコミュニケーションを取り、共通の話題で盛り上がり、お互いの文化について交流したりと普段の生活では体験できない貴重な体験となりました。

「会うまではちゃんと話せるか、相手の言葉を理解できるかなど不安と心配がありましたが、いざ話してみるととても気さくで、分からない単語があったり聞き取れなかったりしたときに丁寧に教えてくれてとても助けてもらいました。コミュニケーションがなかなかうまくできなく英語力のなさを痛感した一方で、インスタを交換して今でも会話をしている良いつながりができたし、もっと英語を勉強しようとやる気ができました。大学生になったら香港で再会する目標ができました。」

齊藤 綾乃（HR23）



ホームカミングディ

12月27日（水）に本校卒業生である先輩方を招いてホームカミングディを行いました。この企画は2011年から始まり今回で10回目となります。今回は9名の卒業生が在校生のために、大学生活や高校生のときにすべきことについて話をしてくれました。講演中、海外旅行やボランティア、大学での研究の写真など大学生活で撮った写真もたくさん見せてもらい、大学生活の魅力を存分に感じることができました。最後には、各ブースに分かれて卒業生と交流し、先輩方の熱い思いに直に触れることができ、将来の大学生活のイメージを得る機会となりました。また、好きなことの見つけ方など今後に活かせることもたくさん学ぶことができました。

陸上競技部 パラアスリート三本木優也選手 練習会・講演会

12月9日（土）、綾部市出身のパラアスリートである三本木優也選手を宮津学舎にお招きし、練習会・講演会を実施しました。三本木選手はパラアスリートの中でT45というクラスに該当し、両腕に障がいがあるながらも日本人パラアスリートとして初の10秒台をマークしました。また、日本代表として海外の試合にも複数出場されています。練習会では、三本木選手が普段の練習で意識していることを教えていただいたり、生徒と一緒に走っていただいたりしていただきました。また、講演会では、「夢を見続ける」というテーマで、これまでの競技人生やパラ陸上の概要・国際大会の様子、今後の展望などを語っていただきました。生徒は、世界大会での活躍を目指している三本木選手の競技への取り組み方や考え方を学び、より一層モチベーションが高まる機会となりました。



フィールド探究部 イオンエコワン グランプリ イオンワンパーセントクラブ賞受賞（全国3位相当）

12月9日（土）に東京都で行われた第12回イオンエコワングランプリ普及・啓発部門において、イオンワンパーセントクラブ賞を受賞しました。この大会は、日本全国の高校生が日頃取り組んでいる「エコ活動」についてプレゼンテーションするコンテストです。フィールド探究部が「大手川で育ち、大手川を育て、大手川を未来に繋げる」というテーマで日頃から取り組んできた活動を、新井滉太郎さん（HR12）・井笹大己さん（HR13）・小西泰志さん（HR13）の3名が発表し、その活動を評価していただきました。



「私達は学校付近にある大手川の環境改善に努めてきました。2004年の大手川の改修工事によって変化した大手川の環境を、多様な生物が生息でき、地域の方から親しまれる川に戻すために生物調査や環境保全を行ってきました。その活動が様々な人に認められて大変嬉しく思っています。また、他校との交流もでき学びを深めることができました。地域の方々には日頃から私達の活動に快く協力していただき大変感謝しています。」

フィールド探究部一同

厚生労働大臣表彰

多年にわたり、社会福祉分野等のボランティア活動を率先して行っている者、またはボランティア活動への支援を行っている者であって、その功績が顕著なものを表彰対象とする厚生労働大臣表彰を受けました。旧宮津高校の頃からこれまで生徒の皆さんが様々なボランティア活動に積極的に取り組んできたことが厚生労働大臣表彰という形で大いに評価されました。

